



2月8日

# 青少年育成町民会議

青少年育成地区推進委員さんをはじめ、85名の方にお集まりいただき開催しました。各部会の活動報告等確認し、日頃の努力をたたえ表彰状・感謝状を授与しました。

## 青少年育成町民会議より表彰状・感謝状授与 敬称略

<表彰状> 神田 涼 (稲津小2年) 全日本卓球選手権全国大会出場 他  
神田 玲 (稲津小5年) 全日本卓球選手権全国大会出場 他

<賞状> 青少年育成町民会議標語最優秀賞  
後藤佑公 (稲津小2年) 勝股孝太郎 (稲津小5年)  
鵜飼哲平 (瑞浪南中2年) 吉松穂歌 (瑞浪南中3年)

<感謝状> 足立真樹 令和4年度稲子連会長  
塚本祐太 令和4年度稲子連総括指導者  
福田正明 通学路整備清掃活動

<賞状> 社会福祉協議会標語 稲津支部長賞  
濱田智子 (稲津小4年) 望月珂子 (稲津小6年)  
渡辺蒼大 (瑞浪南中1年) 加藤琉希 (瑞浪南中3年)



2月17日

# 青少年育成市民会議



稲津町からは2人に表彰状・感謝状が手渡されました。

<表彰状> 加藤 萌 美濃加茂高校3年(上平) 岐阜県駅伝大会において最終5区で区間賞をとり優勝に貢献し、全国大会に出場されました。

<感謝状> 横井美佐子 (羽広) 東濃西部少年センター瑞浪地区指導員として、多年にわたり青少年育成の健全育成に大いに貢献されています。

2月11日

# 第15回 いなつフォークvillage 2024

2月とは思えないほどの暖かく清々しい朝、元気な声で始まったフォークvillage。町内はもちろん県外から延べ150名の来場者で賑わいました。26名のメンバーが30曲を演奏し歌いました。

小学5年生のグループは自分たちも楽しんで演奏し、会場を盛り上げてくれました。中学生グループは小学生の頃からこのギター教室に通い、ギターのみならず素敵な歌声も聴かせてくれました。

来場者は、出演者の一生懸命な姿に感動し、演奏者は練習の成果を発表できる機会ができたこと、皆さんの笑顔が見えたことに喜びを感じていました。

準備から片付けまで、メンバーとその家族が積極的に動いてくださり、音楽以外でも絆の強さを感じました。



ii-nuts!!ギャラリー

お雛様展示中

## 学用品リエントリー

入園・入学の時期を前に学用品約80点を展示しました。

文房具、制服やお昼寝布団などがあり使ってもらうのを待っています。展示は期間限定でしたが、年間を通して活動しています。

また、稲津町文化祭や学校の授業参観日に展示を行う予定にしています。



3月の稲津さん

## 学童の頼れるお兄さん

臼杵 慎吾さん (43歳) 一色町



京都の大学を卒業後、就職しましたが30歳を機に瑞浪市で暮らしはじめました。3年ほどデイサービスの仕事に就きましたが、武並の学童でアルバイトをする機会があり、この仕事に興味を持ちました。もともと子どもは好きだったので、ぺんぎん学童クラブが募集していることを聞き応募しました。

子どもが来る前は、事務仕事や受け入れ準備をします。低学年が早く来て先に勉強をします。中・高学年が来て出欠をとりおやつタイムです。全員揃うと戦場のようです。話をするとき注目させる事やトラブルが起きた時は大変です。日々、子どもたちの成長がみられる事がうれしいです。小さな成功でも、ほめることで自己肯定感が生まれます。学童は、異年齢の集まりなのでお互い刺激を受けたり、助け合ったりして成長が見えるのでやりがいがあります。これからも安心安全を第一に、子どもたちが自分らしく過ごせる生活の場を作っていきたいと思っています。

2月5日

## 瑞浪南中学校生徒会 能登半島へ義援金を!

瑞浪南中学校でアルミ缶回収収益金贈呈式が行われました。生徒会が年間を通してアルミ缶回収を行い、収益で例年は幼稚園に絵本を届けたり、福祉施設に車椅子を届けたりしていました。

今年も幼稚園に絵本を届ける案が出ていましたが、能登半島地震が発生し「ぼく達と同じ中学生をはじめ多くの人々が被災されている、少しでも困っている人達の力になりたい。」という気持ちから地域を通じて届けてもらうことにしました。

正村公民館長と陶公民館長が贈呈式に出席し、お預かりした収益金は生徒さんの1年間の努力と気持ちを大切に、義援金としてお届けしました。



人	1月1日現在		2月1日現在		増減
	男	2,060 人	2,044 人	-16	
口	女	2,084 人	2,076 人	-8	
	計	4,144 人	4,120 人	-24	
世帯数		1,728 世帯	1,722 世帯	-6	

	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着	
	3月14日	3月26日	3月13日	3月25日
小里	4月12日	4月24日	4月11日	4月23日
	4月11日	4月23日		

## 館長レポート

2

能登半島地震への思い  
日本では、「阪神・淡路」「東日本」「熊本」と大きな地震による被害は記憶に残っています。また豪雨による災害も多く発生してきました。今もなお傷跡は深く残っています。

元日には能登半島地震が発生し、多くの方が被害にあわれ避難所生活を余儀なくされてみえます。  
2月5日に陶公民館長と瑞浪南中学校を訪れました。今月の「いなつびより」でも掲載させていただきましたが、生徒会が中心となり活動されたアルミ缶回収により得た収益金を能登半島地震により被災された皆さま方の一助になればとの思いをいただき収益金を預かるために訪問させていただきました。従来は幼稚園に絵本を寄付したり、福祉施設に車椅子を寄付したりと地域に還元していたことを今年に被災地に届けたいとの思いでした。こうした思いはこれからの復興の支えになるものと思っています。  
能登半島地震で被災された方々へ寄り添う思いは賞賛に値するのではと思います。瑞浪南中学校に「やさしさ」と「思いやり」の精神が醸成されてきた証だと感じます。

3